

○氏 名:E・F 通期アーカイブ生

私は多年度受験生で、合格するまでに10年かかりました。2次試験は6回受験。結果はどうあれ、最後の受験と決めて臨みました。なぜ今年合格できたのか、なぜ今まで合格できなかったのかを自分なりに振り返りました。今後、診断士試験合格を目指す方々の参考になれば幸いです。長文になりますが、ご容赦下さい。

私の受験歴は、1年目～3年目某社1(通学)、4年目某社2(通学)、5年目～9年目独学、10年目MMC(通信)です。

予備校は3校経験しています。某社1は一次試験の講義は良かったですが、二次試験の講義は自分には難解でした。しかしそこで知り合った仲間とは今でも繋がりがあり、10年も勉強を続けた動機になりました。某社2は二次試験をグループワークで勉強するシステムが良かったです。設問に対し、なぜ自分がこの解答を書いたのか深く考える事ができました。また周りの方の解答を知る事で、伝わりやすい文章がどんなものか考える契機になりました。しかし、事例IV以外は過去問しか取り扱わない為、私は模範解答を覚えてしまうなど、初見問題への対応力を養う事ができなかったように思います。

私が最後にMMC(通信)を選んだ理由は、①二次試験に特化し、予備校オリジナルの答練で勉強できる、②仕事が多忙になり通学が困難、③川口講師が親切で的確な助言を下された、からです。通信は、自分の好きな時間に勉強できる反面、自分で勉強時間を確保する必要がある為、2月から自習室を借りて、平日は仕事終わり2時間程度、土日は6時間ほど勉強しました。自習室を借りると集中して勉強できるし、お金を払っている以上、元を取らねば損だという気持ちが働き、ほぼ毎日通う事が出来ました。その分、自宅ではほぼ勉強せず、家族サービスにあてました。

家族サービスを充実させるというのは、MMCの徳川講師が「二次試験の勉強は覚える量は少ない。だからこそ少ない時間で勉強終わらせて、後は家族との時間を大切にして下さい」と仰っていて、感化され、そうしようと決意した事がきっかけです。勉強と家族サービスのバランスが取れた事で、精神的にも充実して本番を迎える事が出来たと思います。

MMCで良かった点は4点あります。

①予備校オリジナルの答練を数多く解くカリキュラムなので、初見問題への対応力がついた事、②複数の講師の方の事例の解き方を詳しく学べるので、良い所取りができた事、③自分なりの解答の型を身につける事ができ、60点を取れたら良いと思う事で、無難な解答を心がけた事、④答練のフィードバックが丁寧で、講師の方々の温かいコメントが何より励みになり、勉強を継続するモチベーションに繋がった事、です。

点数が低い時は厳しい指摘もあり、凹んだ事もありましたが、改善すべき点分かり、次回以降に活かすよう心掛けました。模試ではなかなか上位2割に入れずにいたのですが、最後の模試で初めて上位13%に入る事ができ、本番前の自信に繋がりました。また受験直前の講師陣の激励メッセージは温かい言葉に涙しました。最後になりますが、なぜ今年受かったのか自分なりに考えました。3点あります。

①勉強し始めるのが2月からと早かった事。やはり動き出すのは早い方が良いと思います。私は二次試験本番が終わると全く勉強しなくなるという燃え尽き症候群でした。酷い年は6月から勉強再開するなどしていました。不合格と分かった時点で少しでも早く勉強再開する事が合格への近道だと思います、

②自分の勉強ペースを掴めた事。私にとっては自習室で勉強しやすい環境を整える事、更に予備校の課題を期日までに提出する事で掴めたと思います。人間は誰しもが強いわけではありません。特に二次試験は模範解答がなく、自分の解答が正しいのか・相手に伝わる文章なのか分からないと思います。一人で勉強しているとモチベーション維持も困難です。そこをMMCの講師の方々の添削・フィードバックで補ってもらえたと思います、

③職場の仲間に診断士試験に向けて勉強している事を宣言した事。私は今まで職場では診断士の勉強している事を公言していませんでした。それは不合格の辛さを知っており、恥ずかしい気持ちがあったからだと思います。しかし今年は最後の挑戦と決めていたので、退路を絶つ意味でも周りに公言しました。すると職場の仲間から色々な場面で励ましてもらいました。例えば「最近勉強の調子どうなん?」「チャンスがあるんやから死ぬ気で頑張らなあかん」等と声掛けしてもらう事ができ、やる気も継続できました。合格報告した時には、喜んでくれました。

私にはもう一人合格を伝えたかった人がいます。私の祖父です。私の祖父は2023年末に亡くなったのですが、10年間、診断士試験受験を応援し続けてくれていました。不合格を報告すると「人間はずっと勉強せなあかん。結果はどうなるか分からんけど、頑張りよ」と励まし続けてくれました。生前におじいちゃん孝行が出来なかったのが心残りです。

私は多年度受験となりましたが、勉強を続けてきて本当に良かったと心から思っています。皆さんも様々なご事情ある中で勉強するからには、笑顔で診断士試験に終止符を打てるよう、頑張ってください。最後まで読んで下さり、ありがとうございました。